

福祉サービス第三者評価結果表

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人エール・フォーユー

② 施設・事業所情報

名称：アスクみはらしの丘保育園	種別：保育園	
代表者氏名：高橋美和	定員（利用人数）：83名	
所在地：山形市みはらしの丘3-3-1	TEL：023-695-3864	
ホームページ： http://www.nihonhoiku.co.jp/blog/miharashinooka/		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成28年4月		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 日本保育サービス		
職員数	常勤職員：20名 非常勤職員：4名	
専門職員	保育士（幼稚園教諭）18（15）名 看護師 1名	
	栄養士 1名	
施設・設備 の概要	保育室 5室 事務室	トイレ：子供用3ヶ所、大人用2ヶ所 多目的トイレ
	休憩室	調理用トイレ
	給食室	外トイレ
	相談室	園庭
	遊戯室	砂場
	調乳室	ガーデンボックス
		消火器

③ 理念・基本方針

【理念・基本方針】

- ・ 安心、安全を第一に《室内外の設備、健康管理、衛生管理》
- ・ いつまでも思い出に残る施設であること《保育プログラムの工夫、親子行事の開催など》
- ・ 本当に求められる施設であること（保護者のニーズに応じていく、一時保育、地域支援など）
- ・ 職員が楽しく働けること（研修、福利厚生充実）

【園目標】

- ① みんな笑顔で ② はつらつと（笑顔であいさつができる子）
- 自分らしく（お友だちも 自分も大切にできる子）
- ③ しっかり食べて大きくなろう（たくさん食べて元気に大きくなる子）

【保育の特徴】

五感を育てる保育
生きる力をはぐくむ保育
異年齢児保育

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・ 3. 4. 5 歳児を中心に園外保育を散歩の他に、月に一度実施している。市の無料バスを利用し、幅広く活動している。
- ・ 地域の老人施設訪問や、小学校との交流会を多く行っている。
- ・ 3. 4. 5 歳児を中心に月一回、クッキング保育を通し食材を見たり、触ったりお友達と協力して調理する喜びを味わう機会をもつ。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 29 年 10 月 25 日（契約日） ～ 平成 30 年 3 月 6 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1 回（平成 28 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 「遊び」の環境づくりについて

開園して 2 年目を迎え、中・長期目標に沿って保育室や園庭の遊具が昨年よりかなり増えて、子どもたちが活発に行動している姿がみられます。日本保育サービスの特徴である「コーナー遊び」に力を入れ、保育室が家庭にいるかのような雰囲気です。テーブル・布団・キッチン用具（ままごと用）・絵本や棚など、安全に配慮したおもちゃを用意し、子どもたちは、はつらつと工夫しながら遊んでいます。また 4・5 歳児は今年度の新たな取組として月 1 回のペースで市の無料バスを利用して「ちょっと遠くへ」山形市消防署のはしご車や少年自然の家のプラネタリウム見学などに出かけ、多くの体験を得ることで心身の成長に繋がる保育に取り組んでいます。

2. 法人本部と園との連携について

事業経営については本部の事業推進部が担当し、労務、予算、人事等の経営の課題を分析し、また行事や事務用品、消耗品等現場で必要な経費については園長と相談しながら執行しています。園長は月 2 回、本部の園長会議に出席し意志疎通を図り、保育事業部とは直接保育に関わる問題や方法についてのアドバイスを得て、実務に活かすことができる体制にあります。役割と責任を明確にして安心して保育に取り組む質の向上に繋いでいます。

◇改善を求められる点

1. 地域との交流について

開園2年目で、小学校とは運動会のために会場を貸してもらうなど交流が少しずつ広がっていますが、そのほか地域からの要望について自治会長や民生委員、関係機関から情報を得るなどして、園の持っている専門的知識を地域の子育て相談等に活かせるような活動ができるよう今後の取組みに期待します。

2. 質の向上に向けた取組について

第三者評価を継続して受審し、査定シートの活用や保育計画等の自己評価を実施して評価・分析を行っているが、保育園全体としてPDCA（計画・実行・評価・見直し）サイクルを継続し保育の質向上に繋がるよう期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保護者からの貴重なご意見をもとに、全職員で話し合いを早速行いました。
30年度～の保育にいかして参ります。
この度はありがとうございました。

⑧評価細目の第三者評価結果

別紙のとおり

【共通評価項目】

評価細目の第三者評価結果

※すべての評価細目（45項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> 日本保育サービス共通の運営理念は事業計画、中・長期計画、ホームページにそれぞれ記載しており、職員は採用時に共感・共有し理解している。保護者には入園のご案内（重要事項説明書）に明記し、毎月の園だよりには園目標を記載し周知を図っている。		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<コメント> 経営については現場から情報を本部へ逐次報告して、本部が職員体制や経営財務状況等の分析を行っている。また当園のおかれている動向を把握し、今後定員を120名までの増員を予定している。		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<コメント> 開園2年目ということもあり、環境整備に多くの予算をつけて、5年間は本部の補助が必要との課題が明確になっている。延長保育の利用者が昨年に比べ増えているので必要な職員数として2名の配置を実施している。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<p><コメント></p> <p>中・長期計画として3年をかけてコーナー遊びの充実に向けて、室内玩具や絵本棚などの環境整備がすすめられている。昨年から園庭の遊具の充実も図られ、来年度は更に増設の予定になっている。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<p><コメント></p> <p>中・長期に基づいた単年度計画が具体的に示されており、玩具の入れ替えや補充が行われ、子どもたちが主体的に安心して遊べる保育が行われている。来年度は課題としている職員のコミュニケーション能力を更に深めていきたいとしている。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p><コメント></p> <p>事業計画は役職員での策定で、行事計画に関しては全職員で検討し、山形の地域性を考慮したものになっている。特に安全に配慮し子どもたちの思い出に残るような計画を立案・実行している。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
<p><コメント></p> <p>保護者には特に事業計画書そのものの配布はしていないが、重要事項説明書（入園のご案内）の中に一部明記して周知を図っている。廊下には保育課程に基づいた指導計画、週案、日案を掲示し、どんな風に一日を過ごしたか保護者が確認できるよう取り組んでいる。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p><コメント></p> <p>一昨年、新園としてスタートし、質の向上を目指して第三者評価を継続して受審している。昨年度の結果に伴う職員一人ひとりの自己評価に基づいて、今後PDCA（計画・実行・評価・見直し）サイクルに継続して取り組まれるよう期待したい。</p>		

9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p><コメント></p> <p>昨年の評価結果を検討し、単年度計画等に挙げているがまだ開園2年目ということもあり内部の環境整備を図っているところで、外部との交流にまで時間が及んでいない状況にある。次年度に向けた取組に期待したい。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p><コメント></p> <p>園長は毎月2回、本部主催の会議に出席して報告や情報の収集を行い、自園の職員と共有している。事業推進部・保育事業部それぞれの担当部署からアドバイスを受け、現場での日々の保育に活かしている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>園長は遵守すべき法令等については本部の研修で学び、職員に周知を図っている。平成30年の保育指針の改訂に合わせて法人全体で内容について学習中である。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<p><コメント></p> <p>園長会議で研修してきたことを職員で共有し、質の向上に向けて努力している。またスーパーバイザーが来園して指導することもある。保育については3歳以上児のコーナー遊びの充実を図り、子どもたちの成長を育てている。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<p><コメント></p> <p>経理面に関しては本部が主導し、必要な経費はすべて申請したうえで本部から受け取る仕組みになっている。園長は職員とのコミュニケーションを密に報告・連絡・相談の徹底を図り、スムーズな園運営が出来るよう取り組んでいる。延長保育の希望者が昨年の2倍近くに増えたのでアルバイトの職員を増員して対応している。来年度は4名の採用が内定している。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<p><コメント></p> <p>入園児と延長保育児の増加に伴い、早番遅番などの勤務形態で職員を増員し保育内容の充実に向けて人材の確保に取り組んでいる。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<p><コメント></p> <p>人事管理規程に基づいて処遇の充実を図り、評価制度や福利厚生など総合的な人事管理のもとで職員の質の向上に繋がっている。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<p><コメント></p> <p>子育てしながら勤務する職員も多く、互いに協力し合いワーク・ライフ・バランスにも配慮した職場づくりを行い、職員の意向を把握して就業時間の徹底が図られている。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>職員一人ひとりが目標を設定し、個別面接を通して進捗状況を確認しながらモチベーションを高めている。職員自身の身支度や言葉づかいに気を付け、子どもに対しての安全に配慮し事故の無いようにして日々の保育に励んでいる。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<p><コメント></p> <p>内部研修を実施し、AEDの使い方と子どもたちが楽しく遊べるためのコーナー作りのプレゼンテーションや死角を作らないように環境への配慮など、研修を通じて保育の質向上が図られている。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p><コメント></p> <p>全員を対象に研修計画を作成し、階層別・職種別・テーマ別に職員に与えられた研修を通して個々の能力向上と保育技術の向上を図り、保育サービスに活かしている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		

20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<p><コメント></p> <p>実習生の受け入れに関する基本姿勢を明確にし、マニュアルも整備されているが、開園してから受け入れまでには至っていない。カリキュラムに応じてそれぞれの職員が担当し、効果的な実習の実現に向けた体制が整備されている。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>ホームページやパンフレット等によって保育園の情報を公開し、苦情・相談の受け入れ体制についても明確にして入り口にも掲示している。寄せられた内容の公表については個人情報の観点から全てを公表することが難しい場合もあるが、市担当者とも周知を図って対応している。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>職務分掌によって園長の権限や責任を明確にして適正に業務を行っており、経営・運営については本部が担当し、専門家による監査を実施して企業会計で行われている。当園については別途資料に於いて適正に実施されていることが確認できる。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>昨年までの成果をもとに、夏祭りや運動会などに自治会長や民生委員を招待し、子どもたちの様子を見てもらいながら意見をもらい、子どもたちが安心して過ごせるような事業計画を立てて取り組んでいる。更に地域交流の拡大を目指して今後の活躍を期待したい。</p>		

24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<p><コメント></p> <p>マニュアルを策定し、ボランティア受け入れについての基本姿勢が示されている。個人情報保護の観点からボランティアが知り得た情報の漏えい防止を図って誓約書をもらうなど、受け入れに当たっての手順や仕組みができています。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p><コメント></p> <p>関係機関と団体の機能や連絡方法を事務室内に掲示し、職員間で共有している。子育ての悩み相談などがあれば市役所にも連絡して対応するなど、関係機関との連携が図られている。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b
<p><コメント></p> <p>自治会長や民生委員などを通じて地域との連携を図っている。開園して日が浅いため地域の人の理解が薄く、今後の課題として立地条件なども考慮しながら保育園の特性を活かした支援活動に取り組まれるよう期待したい。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p><コメント></p> <p>自治会長と民生委員に第三者委員を依頼しており、運営委員会や保護者総会にも出席してもらいニーズの把握に努めアドバイス等を受けている。今後は園庭の開放なども含めて地域貢献に関わる事業・活動が展開されるよう期待したい。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>法人の運営方針・基本方針と独自の園目標に基づいた保育課程を作成しており、職員は周知し共通理解した保育が行われている。職員は保育内容のそれぞれの得意分野を発揮し、保護者には日頃の対話や保護者会等で説明して理解してもらえよう取り組んでいる。</p>		

29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>プライバシー保護に関して職員はマニュアルに沿って高い意識で臨んでいる。入園時に個人情報や写真等の取扱いについて説明し、子どもの肖像（写真や動画）をホームページやパンフレット等に掲載することについては保護者と承諾書を取り交わしている。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p><コメント></p> <p>山形市認可保育所等利用案内や法人のホームページで情報発信している。見学申し込み者には丁寧な説明をしており、来年度も特に0・1・2歳児の入園希望者が多く定員を増員している。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p><コメント></p> <p>新入園児の保護者には「入園のご案内」（重要事項説明書）の資料をもとに、全保護者には保護者会や個人面談で説明している。「園だより」「ほけんだより」「クラスだより」を発行し、連絡事項はクラスごとや全体には玄関前の掲示板で知らせている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>園長や主任保育士は保護者の相談にいつでも対応できることを伝えている。退園の手続きについては入園時に説明しており、引継ぎ文書等の作成はないが問い合わせがあった場合は応える体制がある。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。	a
<p><コメント></p> <p>開園2年目になり、子どもたちは保育園生活にも慣れ毎日のびのびと元気に過ごし、園と共に成長している様子がうかがえる。保護者とはクラス懇談会・運営委員会・個人面談・保育参観等で意見交換している。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<p><コメント></p> <p>苦情受付担当者を主任保育士、解決責任者を園長、第三者委員（自治会長・民生委員）2名を設置して、苦情解決の体制を整備し掲示している。内容によっては山形市や法人に「クレーム受理票」で報告して保護者総会等で公表し、改善を図っている。</p>		

35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
<p><コメント></p> <p>職員全員に何でも話してもらえるような雰囲気作りを心がけている。保護者は玄関から見える事務室にいる園長に気軽に声がけして相談し、個別の内容には相談室で対応している。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<p><コメント></p> <p>意見・要望の中でできる事はその日のうちに取り入れ、迅速に対応している。行事の翌日にはアンケート用紙に感想を書いてもらい、「何でも書いて下さい」欄もあり大きな行事は保護者の要望で土曜日にするなど、意見を取り入れて実施している。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p><コメント></p> <p>年に1回不審者対応の訓練を実施し、職員が不審者役になり大きいクラスの子どもも参加して危険への気づきや注意を促し、安全確保に努めている。ヒヤリハット報告・事故報告の収集を行い、本部の安全対策課からも事例をもとに指導を受けて職員会議で共有している。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時におけるこどもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>看護師が中心になり、感染症ガイドラインマニュアルをもとに職員に周知し予防に努めており、発生時には玄関に掲示して保護者に注意喚起をしている。発症した場合の登園許可基準や投薬について(文書化)は入園説明会で説明し、保護者から集団感染防止の協力を得ている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時におけるこどもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>火災や地震を想定した避難訓練を毎月実施しており、子どもたちは消防署見学にも出かけて防災意識を高め、全員揃いの防災ずきんをかぶり真剣に取り組んでいる。避難場所は隣接するみはらしの丘小学校に設定し、食料品・救急用具・着替えなどを備蓄して災害に備えている。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b
<p><コメント></p> <p>来年度改訂の「保育指針」については本部の園長・主任会議で研修しており、文書を全職員に配布している。保育園独自の保育課程に基づいた年齢別保育計画が作成され、職員は互いの得意分野を認め合いながら統一した目標のもとで保育を行っている。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p><コメント></p> <p>保育課程に基づいた年齢別の年間・月間・週・日の指導計画案を作成し、担任は実施後に反省・自己評価を行い、職員会議で話し合って共有している。年度末に全体の振り返りを行い、保護者の意見も取り入れながら来年度の保育計画に活かしている。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
<p><コメント></p> <p>入園時に保護者から「児童家庭調査票」「健康診断書」「児童健康調査票」「お子様の状況について」等の提出や個人面談で情報を把握し、保育計画に反映している。子どもの気になることや注意事項は一覧表にして職員全員で共有している。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<p><コメント></p> <p>2年毎に保育課程を見直すことになっている。来年度にあたりPDCAサイクルを継続し、指導計画を緊急に変更する場合の仕組みの整備や手順を取り入れるなど、保育の質向上に繋がるよう期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a
<p><コメント></p> <p>職員は登園時に保護者からの連絡事項を聞きもらさないようにメモを取り、昼礼で全職員が共有している。個人記録（児童票）は担任が定期的に手書きで記録し、園長が確認している。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p><コメント></p> <p>個人記録は事務室の書庫に鍵をかけて保管し、園長が責任者となっている。職員は個人情報保護マニュアルを周知し、電子データの管理はルールを決めて徹底しており、保護者からの情報開示請求にも対応している。</p>		